

# 『ラテン・アメリカ論集』投稿規程

(2006 年 10 月 28 日改正)

(2015 年 11 月 15 日改正)

(2021 年 11 月 14 日改正)

(2023 年 11 月 26 日改正)

(2024 年 9 月 2 日改正)

1. 本学会規約第 4 条および第 8 条に定める会員および会員に準ずる者は、ラテン・アメリカ論集（以下、「論集」という）に投稿することができる。共著原稿の主著者（筆頭著者）は、会員および会員に準ずる者とする。

2. 投稿は次の条件に基づく。

(1) 内容：ラテン・アメリカ地域に関する、論文、研究ノート、レビュー論文、調査報告、資料・機関紹介、書評等で未発表のもの。

(2) 枚数および書式：論集執筆要領に従う。

(3) 投稿要領：投稿希望者は編集委員会あてに電子媒体で原稿を提出する。

(4) 投稿料：無料とする。

(5) 本規程に定めのないところは、理事会承認の下、編集委員会が決定し発表する。

3. 投稿された原稿は編集委員会が審査し、採用されたものは全て署名原稿とする。原稿は採否にかかわらず返却しない。

4. 「論集」に掲載された論文などの著作権は本学会に帰属する。「論集」電子版はオープン・アクセス形式で J-STAGE に掲載し、その際の著作権の形式は、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 4.0 の「CC BY-NC-ND」(氏名、作品タイトルなど原作者のクレジットを表示し、非営利目的で、元の作品を改変しないことを主な条件に、作品を自由に再配布できる)とする。

## 論集執筆要領

(2012 年 11 月 16 日改正)

(2015 年 11 月 15 日改正)

(2024 年 2 月 19 日改正)

(2024 年 9 月 2 日改正)

1. 原稿は、ワープロ（マイクロソフト・ワード）で作成する。完成原稿のワープロファイルと PDF ファイルを提出する。図表は本文中の当該箇所に貼り付けるとともに、エクセル等によるデータファイルも合わせて提出する。なお、編集委員会、事務局において図表の作成はしない。
2. 投稿する原稿は、論文、研究ノート、レビュー論文の場合、刷り上がり図表込みで 28 頁、調査報告の場合、刷り上がり図表込みで 14 頁、資料・機関紹介、書評の場合、刷り上がり図表込みで 7 頁を上限とする。
3. 原稿の書式は、横書き、B5 版、38 字×35 行、和文は明朝、欧文は Times New Roman、10 ポイント、余白（上下各 30mm、左右各 20mm）、文末注とする。なお、氏名、所属、タイトル、原稿種別の記載欄として刷り上がり時に 1 頁目の冒頭 10 行分が使用されることに留意する。
4. 審査過程での匿名性を確保するため、提出原稿においては、文中で著者が特定されるような表現は、可能な範囲で避ける。
5. タイトルは内容に即して平明・簡潔にする。副題の多用は避ける。英語訳、スペイン語訳、ポルトガル語訳のいずれか一つも付記する。
6. 文章は原則として当用漢字、現代かなづかい、アラビア数字を使用し、平明な表現を用いる。
7. 外国の国名、地名、人名などは、漢字による表記が慣例となっている場合を除き、原則としてカタカナ書きにする。ただし、引用の場合の

表記は 16 項による。

8. 外来語、外国の度量衡および貨幣の単位はカタカナ書きにする。ただし、図表では 記号を用いる。
9. 数式は、行間を十分にあける。
10. 補足的な叙述にはかっこを用いる
11. 注はアラビア数字による通し番号で明示する。
12. 文献の掲載順は著者姓によるアルファベット順とする。記載方法は、著書の場合、著者姓、著者名、書名、出版地、出版社、出版年の順とし（ただし和書の場合は出版地を省略してよい）、論文の場合、論文名、誌名、巻号、発行年月とする。
13. 外国語書名、誌名はイタリックで表記する。論文名は“ ”で囲む。和書の場合、書名、誌名には『 』、論文名には「 」を付ける。
14. 図、表にはそれぞれ通し番号と題をつける。単位、出所を必ず明記する。
15. 論文・研究ノート・レビュー論文の巻頭には 1 / 2 頁程度の概要（Abstract / Resumen / Resumo）を 欧文タイトルと同じ言語で記載する。
16. 本文中で引用文献に言及する形式はハーバード方式（和文の場合：山本（2002:15）、山本（2002）、欧文の場合：Yamamoto(2000)、など）とする。